・客観的に何を見てほしいのか?

どんなにヤジが飛んでも強い奴は強い

テーマ・こいつらすげーな。こいつらやべーな。

何がすごい？何がやばい？

・アクションの連携

・動きの読み合い

・

主人公の目的

・一流のハンターになりたい

プロット

・村一番のハンターが起死回生で巨大モンスターを倒す物語

人物４人

主人公・真面目でかしこくて負けず嫌い

・太刀

・自分の道を極めたいやつ

お供A・明るくて爆発にロマンがある子

・他人が不幸になるのを楽しむやつ

・両手銃・仕掛け爆弾屋アイテムを無駄に使う

お供B・ナルシストで見下し上手

・攻略方法知って調子乗ってるやつ

・笛・ヘイター、能力上げ

お供C・マイペースで仲間思い

・一緒にやろうといわれてついていってるやつ

・弓矢がものすごく下手

・遠距離弓・サポーター

モンスター2匹

いかにして応援したくなるか？

村長に頼まれて

強制的に仲間を連れて狩り開始

ザコの集団と戦う。

主人公の強さをフル発揮するものの仲間はだいぶもたついてる様に見える

主人公が助けようとした途端、

ナルシスとの味方に踏まれて味方のトラップに引っかかりさらに爆薬に巻き込まれる

お供たちはうまくいった素振りをみせるが主人公はイライラ

巨大モンスターが現れる

一人で立ち向かうが、まったく歯が立たない

味方を交えて戦闘開始

だが意図しない？味方の攻撃と巨大モンスターの攻撃をものすごく受ける

ナルシスとの仲間に呆れられる

「けど村長から村で一番強いって聞いてたけど・・・」

「村一番のくせに大したことないんだね」

主人公は「俺に不可能はない」とふるいたてる

作戦は「俺に全てぶつけやがれ！」

アクションパターン

・走って逃げまわる

・壁キックで反撃

・相手を踏んづけて飛ぶ

・落ちた矢を拾ってモンスターの目に刺す。

・爆薬を設置、猟銃で撃つ

モンスターを倒して当然の顔してEND